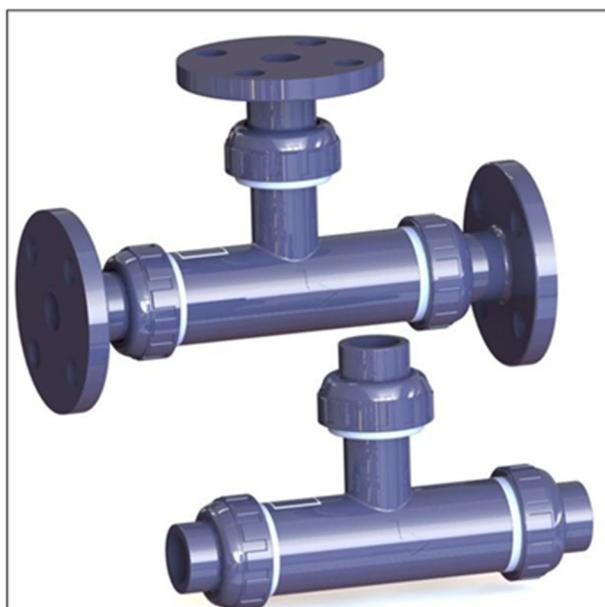


AVEJT

旋回流型エジェクタ (流体混合器)

取扱説明書



このたびは、弊社製品をご採用いただきまして、ありがとうございます。

この取扱説明書は、弊社製品を安全にご使用いただくための重要な事柄について記載していますので、製品を取り扱う前に必ずお読みください。なお、お読みになられた後は、お使いになられる方がいつでも見ることが出来る場所に必ず保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。

旭有機材株式会社

【取扱説明書】 AVEJT 旋回流型エジェクタ (流体混合器)

-安全にご使用いただくために-

この取扱説明書は、弊社製品を取り扱われる方が当社製品、電気、機械、制御等の基本的な知識をお持ちであることを前提として書かれており、取扱い内容によっては専門用語を含んでいます。

この取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解され、安全事項を順守して正しく使用してください。

この取扱説明書では、人的障害や物的損害の状況、及び規模をお知らせするために、特に重要とされる事象について「警告」「注意」「禁止」「強制」の内容をマークとともに区分して記載しています。

順守しなかった場合、思わぬ障害や損害が発生する可能性がありますので、必ず順守されますよう、よろしく願いいたします。

<警告・注意表示>

 警告	製品の取り扱いを誤った場合、「 死亡または重傷を負うことが想定される内容 」です。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、「 傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容 」です。

<禁止・強制表示>

 禁止	製品の取扱いにおいて、「 行ってはいけない内容 」で禁止します。
 強制	製品の取扱いにおいて、「 必ず行っていただく内容 」で強制します。

目次

1. 弊社製品の保証内容について	4
適用対象	4
保証期間	4
保証範囲	4
免責事項	4
2. 安全上のご注意	5
開梱・運搬・保管	5
製品の取り扱い	6
3. 各部品の名称	7
4. 製品の仕様	8
型番表	8
概算重量	9
最高許容圧力と温度の関係	9
性能曲線 1（液体－液体）	10
性能曲線 2（気体－液体）	14
背圧あり時性能曲線（参考）	17
外形寸法	19
5. 配管方法	20
フランジ形	21
ねじ込み形	23
ソケット形	24
6. 点検項目	26
日常点検	26
定期点検	27
7. 不具合の原因と処置方法	28
8. 残材・廃材の処理方法	29
お問合せ先	30

1. 弊社製品の保証内容について

契約書、仕様書等に特記事項のない場合、弊社が製造・販売するバルブ等の配管材料製品（以下、「対象製品」といいます。）の保証内容は以下のとおりとなります。

適用対象

この保証は対象製品を日本国内で使用される場合に限り適用されます。海外でご使用になられる場合には、別途、弊社にお問い合わせください。

保証期間

保証期間は、納入後1年間といたします。

保証範囲

上記保証期間中に弊社の責任による故障や不具合が生じた場合は、代替品との交換、または修理を無償で実施いたします。

ただし、保証期間内であっても、次に該当する場合は保証の対象外（有償でのご対応）といたします。

- ▶ 施工・据付・取扱い、及びメンテナンス等において、仕様書・取扱説明書等に記載された保管・使用条件や注意事項等が守られていない場合。
- ▶ お客さまの装置やソフトウェアの設計等、対象製品以外に起因した不具合の場合。
- ▶ 弊社以外による製品の改造・二次加工に起因した不具合の場合。
- ▶ 取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる不具合の場合。
- ▶ 部品をその製品の本来の使い方以外にご使用になられた場合。
- ▶ 弊社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障や不具合の場合。
- ▶ 天災・災害等の弊社の責任ではない外部要因による不具合の場合。

免責事項

- ▶ 弊社製品の故障に起因する二次災害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）、及びいかなる損害も補償の対象外とさせていただきます。
- ▶ 弊社は製品の品質・信頼性の向上に努めておりますが、その完全性を保証するものではありません。特に人の生命、身体、または財産を侵害するおそれのある設備等にご使用になられる場合には、通常発生し得る不具合を十分に考慮した適切な安全設計等の対策を施してください。このようなご使用については、事前に仕様書等の書面による弊社の同意を得ていない場合は、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- ▶ 弊社製品のご使用に際しては、製品仕様や注意事項等の遵守をお願いいたします。お客様がこれらを怠ったことによりお客様に損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負わないものとします。ただし、お客さまに生じた損害が、弊社製品の欠陥による場合はこの限りではありません。

2. 安全上のご注意

開梱・運搬・保管

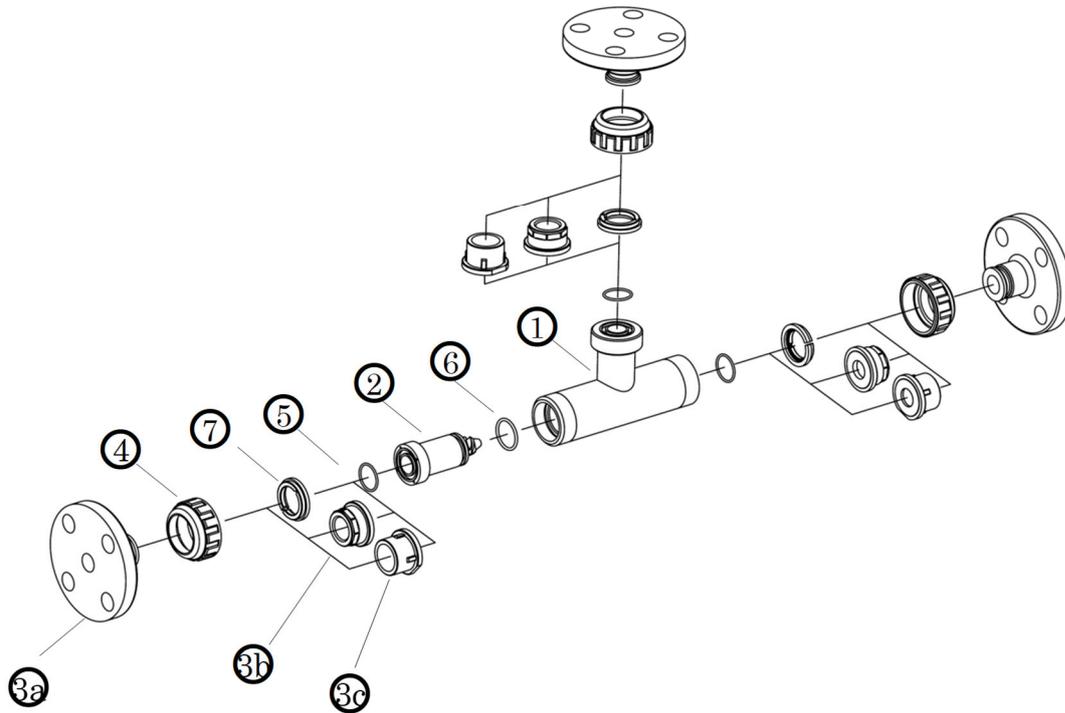
 注意	
 禁止	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 投げ出しや落下、打撃などによる衝撃を与えないでください。 ▶ 梱包物の上に乗ったり、重量物を載せないでください。 ▶ ナイフや手かぎなどの鋭利な物体で、引っかきや突き刺しなどをしないでください。 ▶ ダンボール梱包は、荷崩れしないように無理な積み重ねをしないでください。 ▶ コールタール、クレオソート（木材用防腐剤）、白あり駆除剤、殺虫剤、塗料などに接触させないでください。
 強制	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 配管直前までダンボールに入れたまま、直射日光を避けて、屋内（室温）で保管してください。また、高温になる場所での保管も避けてください。（ダンボール梱包は水などに濡れると強度が低下します。保管や取扱いには十分注意してください） ▶ 開梱後、製品に異常がないか、仕様と合致しているかを確認してください。

製品の取り扱い

 警告	
 強制	<p>重傷を負うおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 弊社樹脂製配管材料に陽圧の気体を使用される場合は、水圧と同値であっても圧縮性流体特有の反発力により、危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆するなど、周辺への安全対策を必ず施してご使用願います。なお、ご不明な点がございましたら、別途、弊社にお問い合わせください。 ▶ 配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合は、必ず水圧で確認してください。止むを得ず気体で試験を行う場合は、事前に弊社へご相談ください。

 注意	
 禁止	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。 ▶ 火気や高温な物体に接近させないでください。
 強制	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 流体の圧力と温度は、許容範囲内で使用してください。(最高許容圧力は水撃圧を含んだ圧力です) ▶ 保守点検が出来るスペースを十分確保して配管してください。 ▶ 使用条件に適した材質を選定してご使用してください。(薬液の種類によっては部品が侵されるおそれがありますので、詳細については弊社へ事前にご相談ください) ▶ 混合する流体の組合せについては事前に十分確認してください。(固形化や発熱などの化学反応が生じる可能性があります) ▶ 常時、水や粉じんなどが飛び散る場所、及び直射日光のあたる場所は避けるか、または全体を覆うカバーなどでバルブを保護してください。 ▶ 「6.点検項目」を参照して、定期的にメンテナンスを行ってください。特に長期保管や休憩時、または使用中の温度変化や経時変化に注意してください。 ▶ 分解しないでください。(本来の性能・仕様を損なう可能性があります)

3. 各部品の名称



※15mm～50mm

[1]	本体	[4]	キャップナット
[2]	ノズル	[5]	Oリング(A)
[3a]	ボディキャップ (フランジ形)	[6]	Oリング(B)
[3b]	ボディキャップ (ねじ込み形)	[7]	ストップリング
[3c]	ボディキャップ (ソケット形)		

4. 製品の仕様

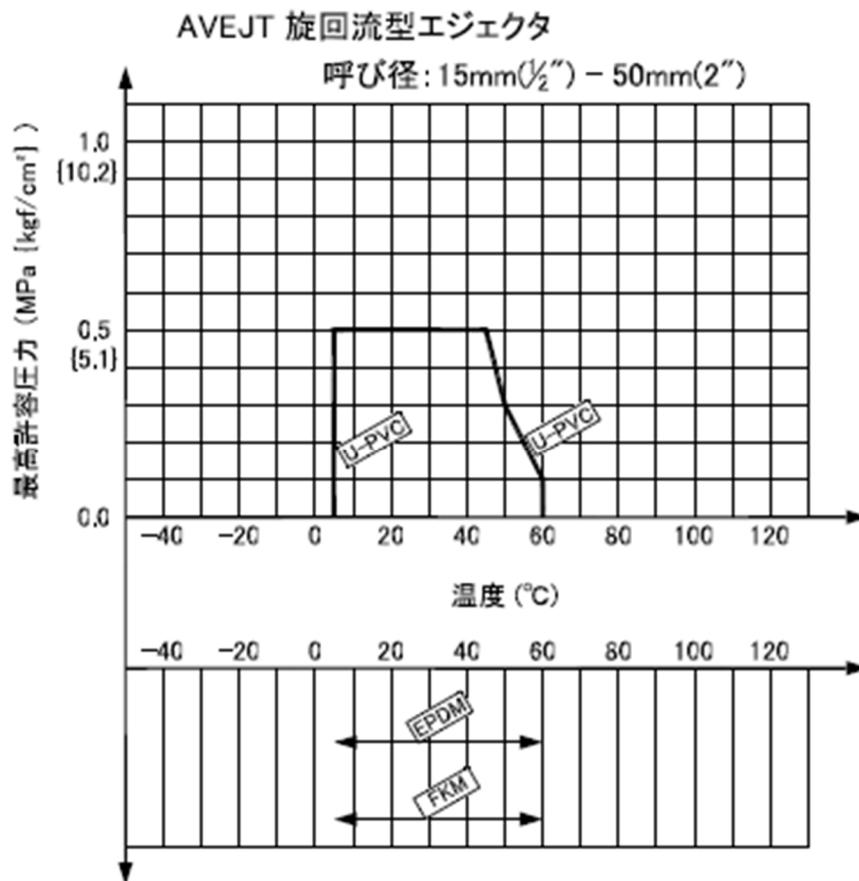
型番表

型式	ボディ材質	シール材質	接続	呼び径	超純シリーズ																										
EJT	U	*	**	***	1																										
<table border="1"> <tr> <td>EJT</td> <td>AVEJT (旋回流型エジェクタ)</td> </tr> </table>	EJT	AVEJT (旋回流型エジェクタ)	<table border="1"> <tr> <td>U</td> <td>U-PVC</td> </tr> </table>	U	U-PVC	<table border="1"> <tr> <td>E</td> <td>EPDM</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>FKM</td> </tr> </table>	E	EPDM	V	FKM	<table border="1"> <tr> <td>F1</td> <td>フランジ形10K</td> </tr> <tr> <td>SJ</td> <td>ソケット形JIS</td> </tr> <tr> <td>NJ</td> <td>ねじ込み形JIS</td> </tr> </table>	F1	フランジ形10K	SJ	ソケット形JIS	NJ	ねじ込み形JIS	<table border="1"> <tr> <td>015</td> <td>15mm</td> </tr> <tr> <td>020</td> <td>20mm</td> </tr> <tr> <td>025</td> <td>25mm</td> </tr> <tr> <td>040</td> <td>40mm</td> </tr> <tr> <td>050</td> <td>50mm</td> </tr> </table>	015	15mm	020	20mm	025	25mm	040	40mm	050	50mm	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>禁油あり</td> </tr> </table>	1	禁油あり
EJT	AVEJT (旋回流型エジェクタ)																														
U	U-PVC																														
E	EPDM																														
V	FKM																														
F1	フランジ形10K																														
SJ	ソケット形JIS																														
NJ	ねじ込み形JIS																														
015	15mm																														
020	20mm																														
025	25mm																														
040	40mm																														
050	50mm																														
1	禁油あり																														

概算重量

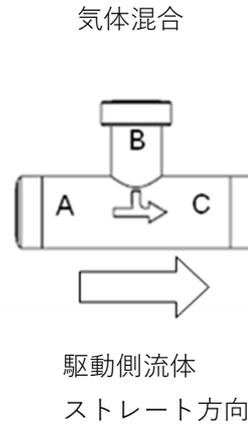
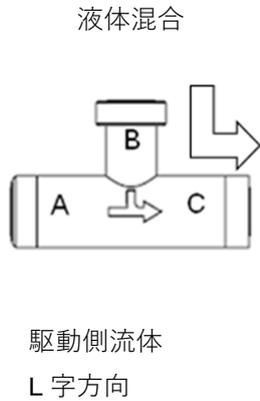
項目	単位	呼び径				
		15 mm	20mm	25 mm	40mm	50 mm
流体温度	°C	5~60				
使用圧力範囲	MPa	0~0.5				
周囲温度	°C	10~40				
接続	-	フランジ、ねじ込み、ソケット形				
参考重量	kg	0.7	1.0	1.6	3.4	5.3

最高許容圧力と温度の関係

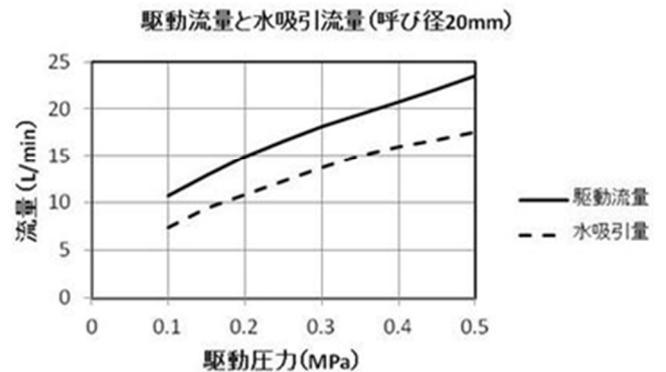
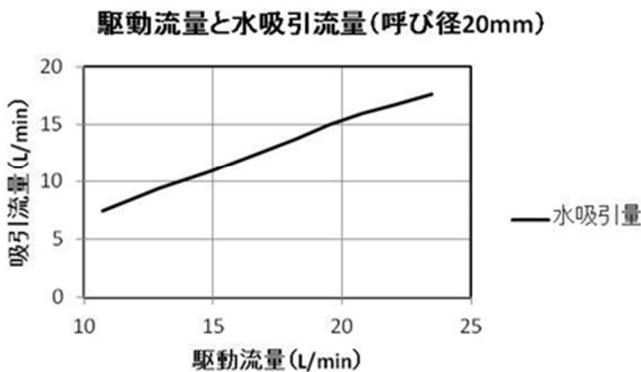
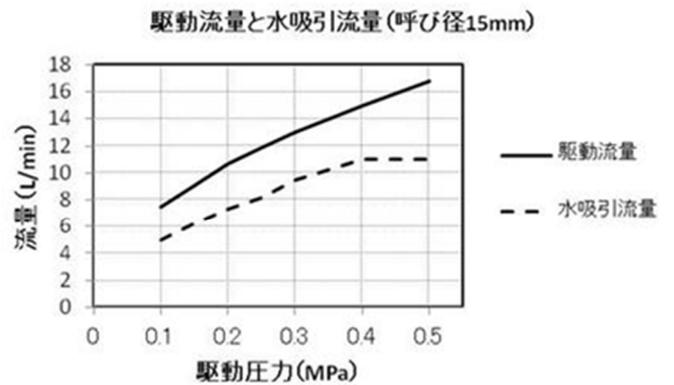
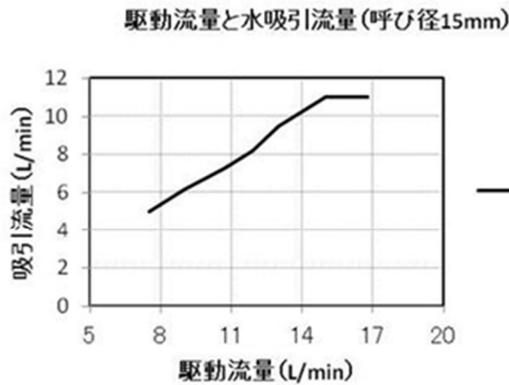


流れ方向

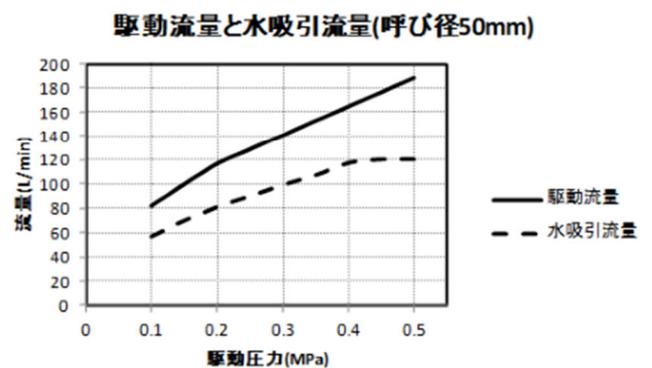
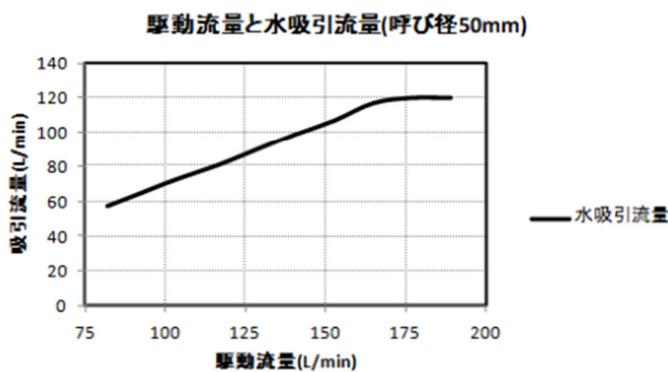
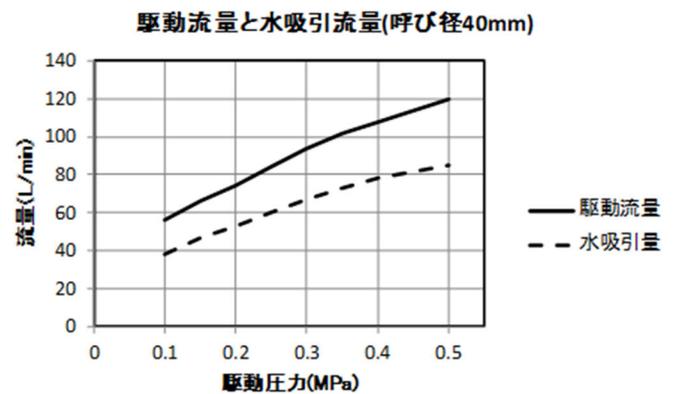
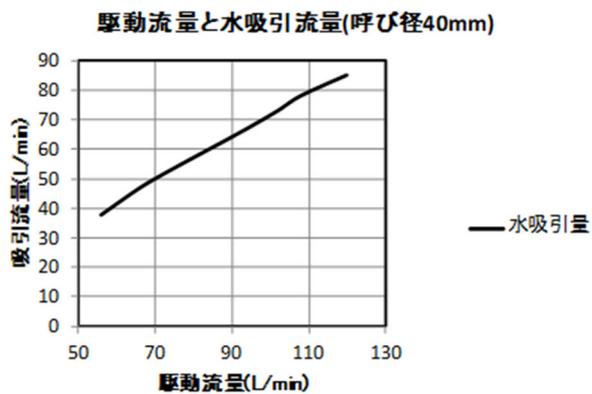
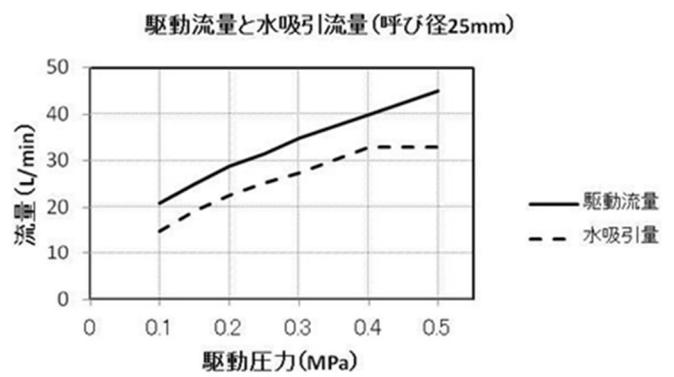
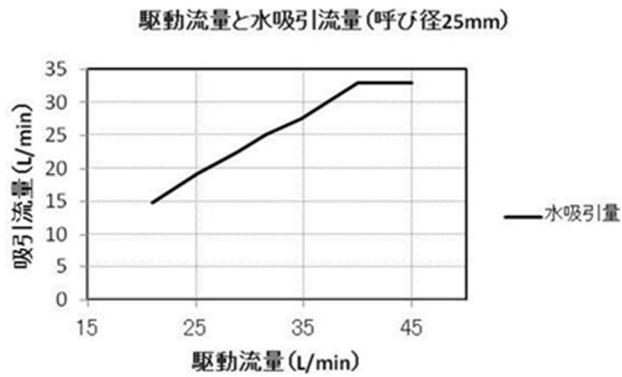
1. 液体混合する場合、メイン流体（駆動側の流体）がB側（上側）から入れてください。
この場合メイン流体（駆動側の流体）は、L字方向に流れます。
2. 気液混合する場合、メイン流体（駆動側の流体）がA側から入れてください。
この場合メイン流体（駆動側の流体）はストレート方向に流れます。



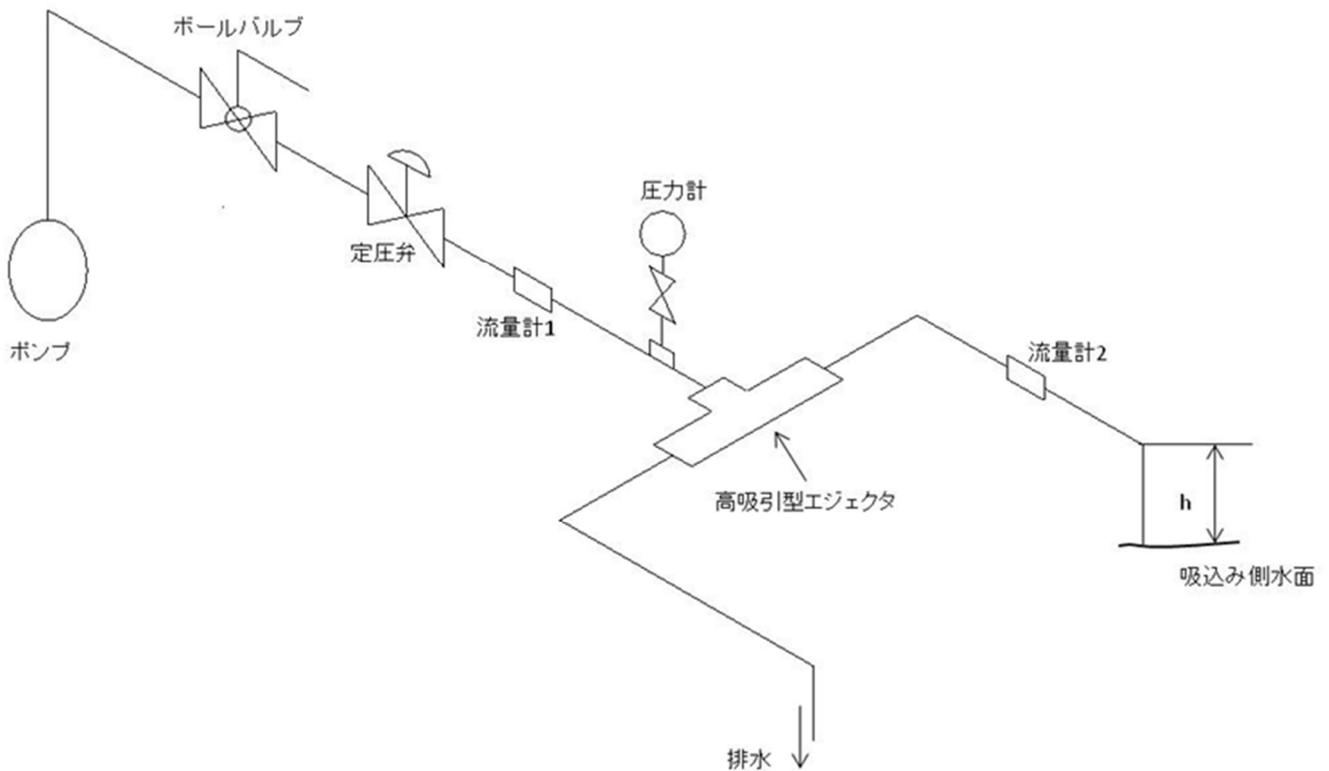
性能曲線 1（液体—液体）



性能曲線 1 (液体—液体) (続き)



実験ライン図（液体－液体）

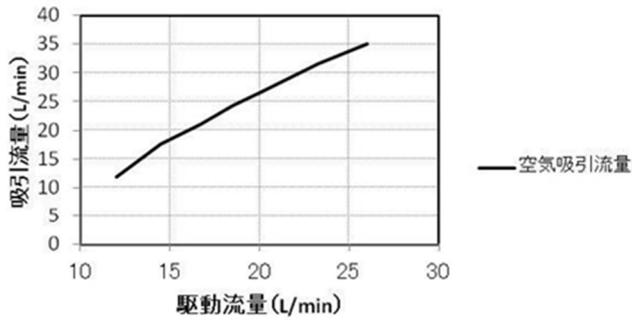


（試験方法と内容）

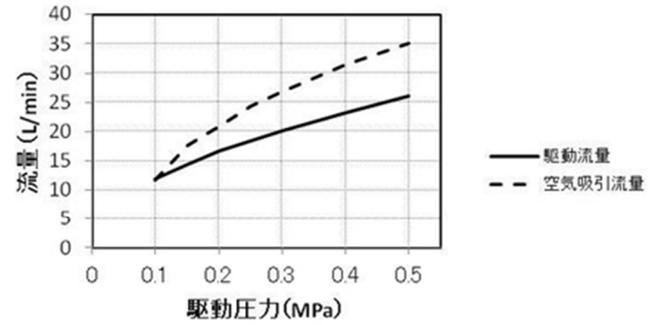
- ・各駆動圧力における駆動流量及び吸引流量を測定。
 - ・上記ラインは、呼び径 15mm,20mm において 3/4 インチ（内径 16mm）の PFA チューブ、呼び径 25mm において 1 インチ（内径 22mm）の PFA チューブ、呼び径 40mm において U-PVC パイプ（内径 40mm）、呼び径 50mm において U-PVC パイプ（内径 51mm）を配管資材として使用。
 - ・旋回流エジェクタ（呼び径 15mm,20mm,25mm）は水平のテーブルに設置している。
水面と旋回流エジェクタ吸引口中心高さは約 200mm（上図の h に相当）となるように配置。
- ※これらのデータは参考値であり、保証値ではありません。

性能曲線 2 (気体-液体)

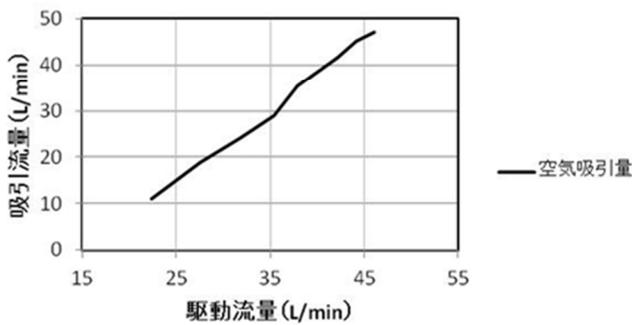
駆動流量と空気吸引流量(呼び径15mm)



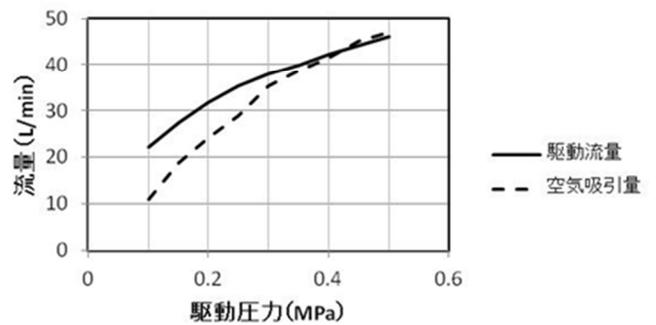
駆動流量と空気吸引流量(呼び径15mm)



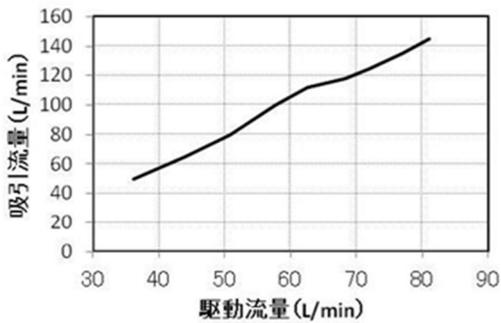
駆動流量と空気吸引流量(呼び径20mm)



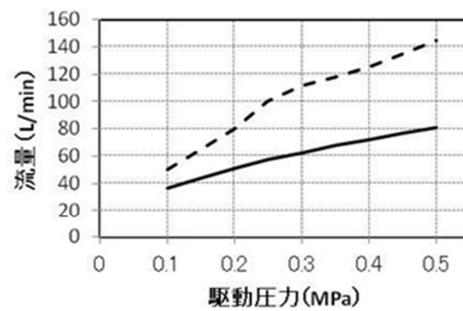
駆動流量と空気吸引流量(呼び径20mm)



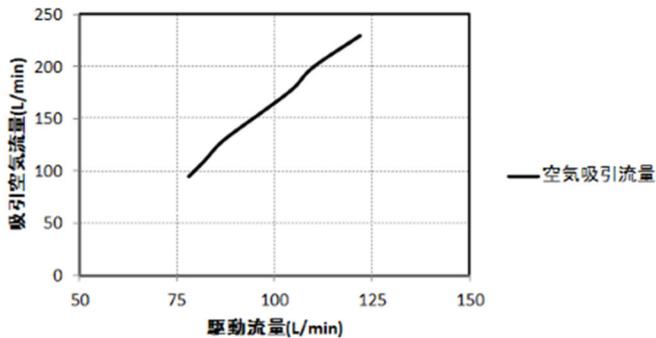
駆動流量と空気吸引流量(呼び径25mm)



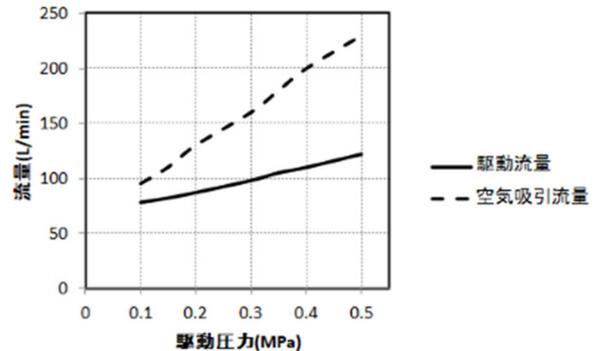
駆動流量と空気吸引流量(呼び径25mm)



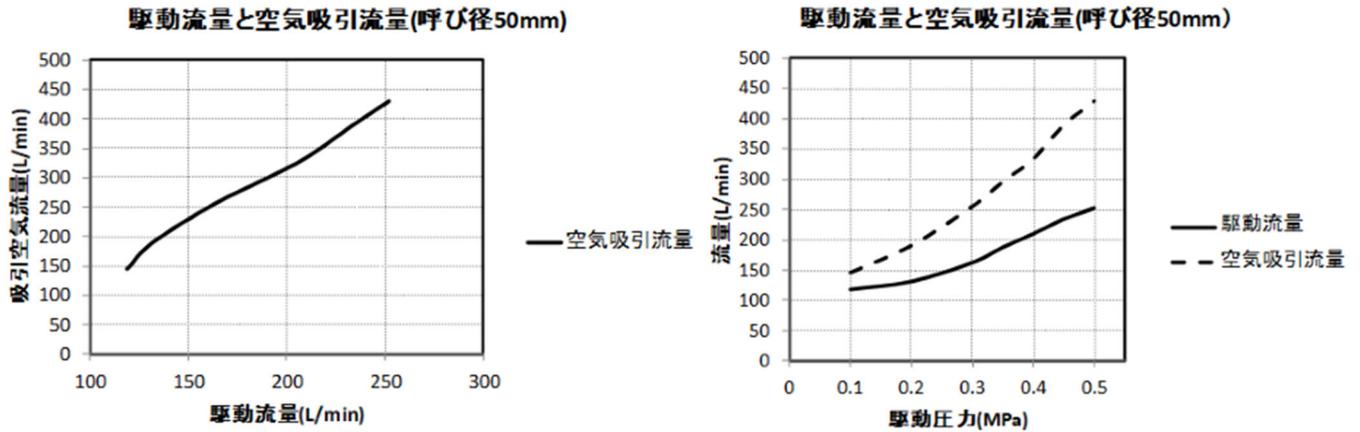
駆動流量と空気吸引流量(呼び径40mm)



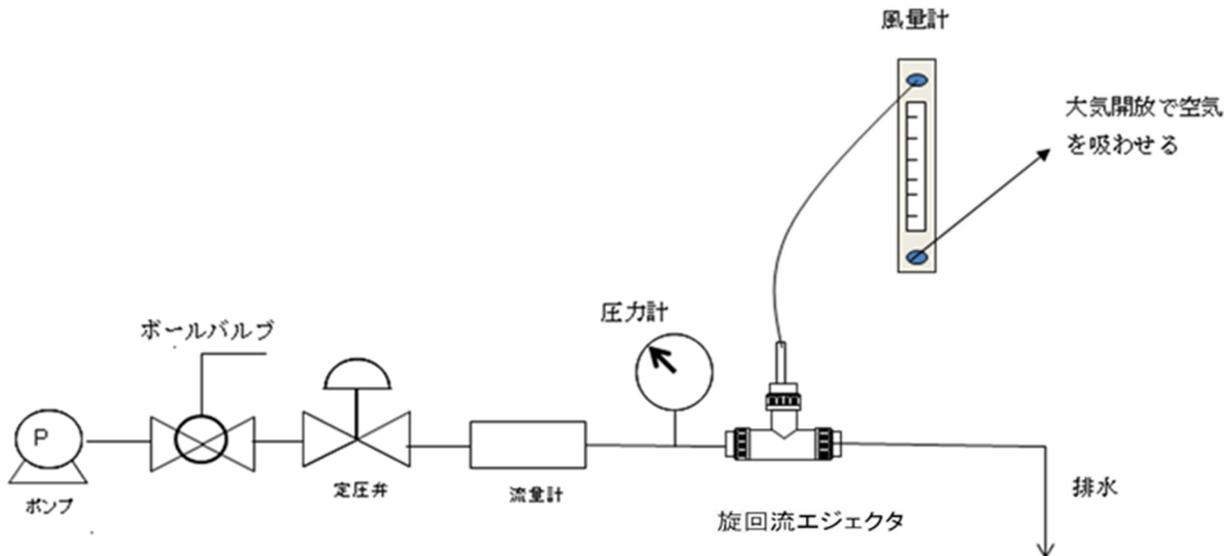
駆動流量と空気吸引流量(呼び径40mm)



性能曲線 2 (気体-液体) (続き)



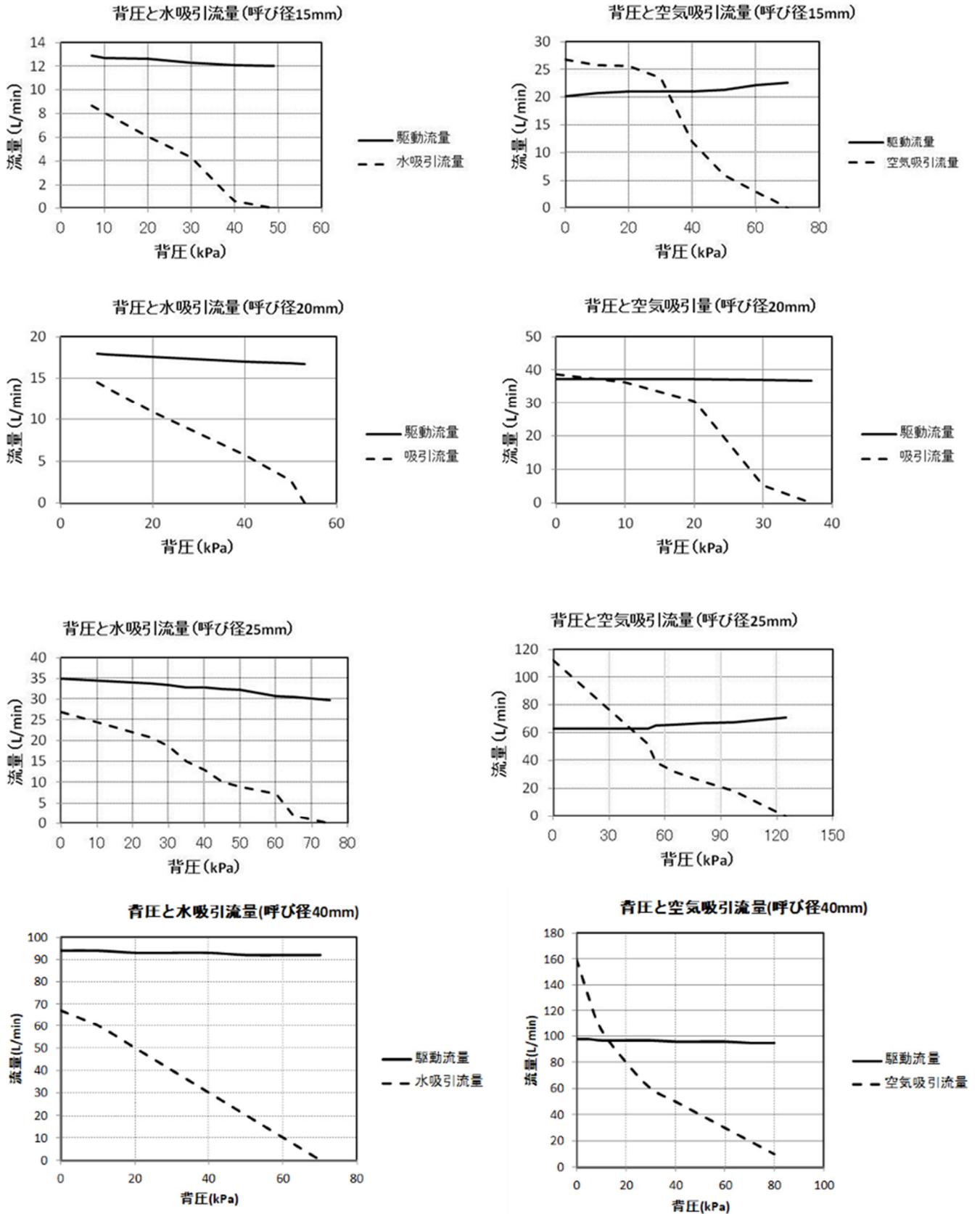
実験ライン図 (気体-液体)



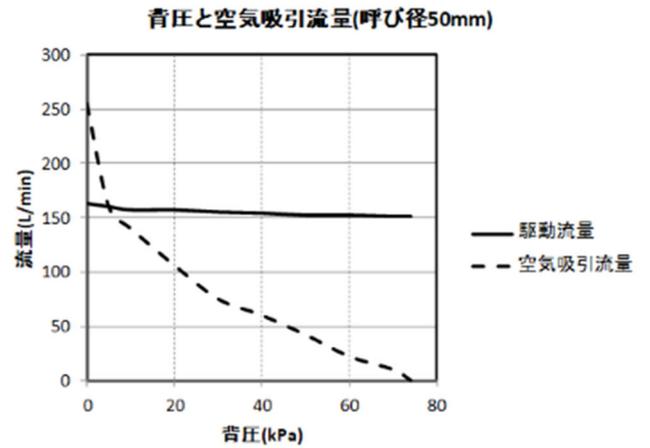
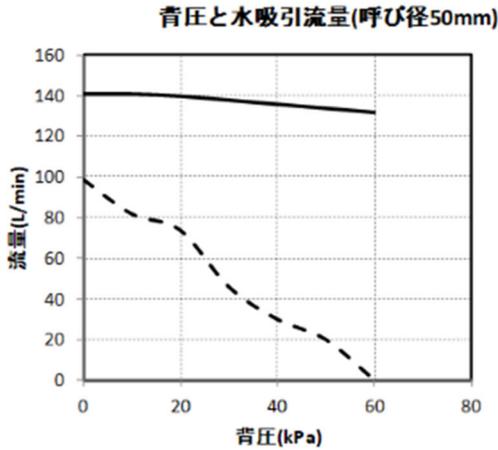
(試験方法と内容)

- ・各駆動圧力における駆動流量及び吸引流量（空気量）を測定。
- ・上記ライン図は、呼び径 15mm, 20mm において 3/4 インチ（内径 16mm）の PFA チューブ、呼び径 25mm において 1 インチ（内径 22mm）の PFA チューブ、呼び径 40mm において U-PVC パイプ(内径 40mm)、呼び径 50mm において U-PVC パイプ(内径 51mm)を配管資材として使用。
 空気吸引チューブは呼び径 15mm, 20mm においては 6mm（内径 4mm）、呼び径 25mm においては 12mm（内径 8mm）のナイロンチューブを使用。
 空気吸引配管は呼び径 40mm においては U-PVC パイプ(内径 40mm)、呼び径 50mm においては U-PVC パイプ(内径 51mm)を使用
- ※気体吸引させる場合、吸引口径によって吸引量が大きく異なる場合があります。
- ・これらのデータは参考値であり、保証値ではありません。

背圧あり時性能曲線（参考）



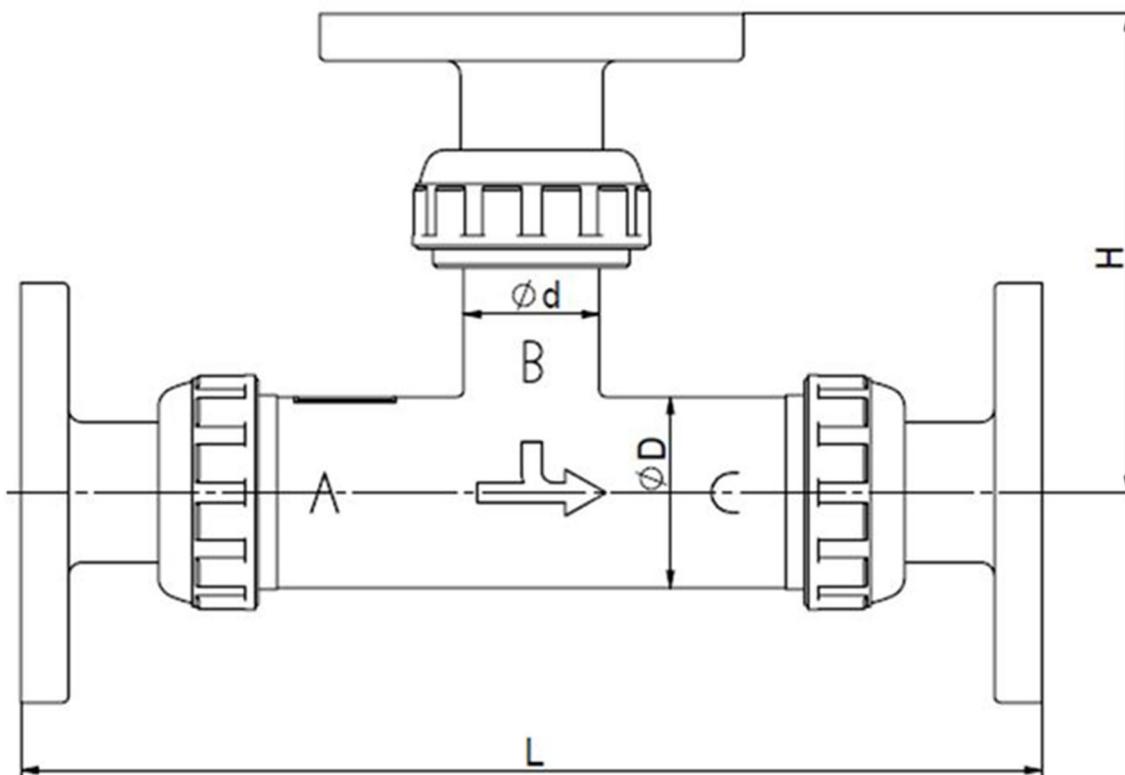
背圧あり時性能曲線（参考）（続き）



実験条件：

- ・一次側駆動圧力を 0.3MPa に固定。（※一次側駆動圧力は差圧ではありません）
 - ・実験ラインは、呼び径 15mm において 3/4 インチ（内径 16mm）の PFA チューブ、
呼び径 25mm において 1 インチ（内径 22mm）の PFA チューブ、
呼び径 40mm において U-PVC パイプ(内径 40mm)
呼び径 50mm において U-PVC パイプ(内径 51mm)を配管資材として使用。
空気吸引チューブは、呼び径 15mm において 6mm（内径 4mm）、
呼び径 25mm において 12mm（内径 8mm）のナイロンチューブを使用。
空気吸引配管は、呼び径 40mm において U-PVC パイプ（内径 40mm）
呼び径 50mm において U-PVC パイプ(内径 51mm)を配管資材として使用。
 - ・ここでの背圧は旋回流型エジェクタの出口側の圧力を表しています。
 - ・実験ラインは出口側に背圧をかけることを除き、前述のライン(液体-液体、気体-液体)と同じです。
- ※気体吸引させる場合、吸引口径によって吸引量が大きく異なる場合があります。
- ・これらのデータは参考値であり、保証値ではありません。

外形寸法



寸法表

呼び径	接続方式	L(mm)	H(mm)	D(mm)	d(mm)
15A	フランジ式	216	102	40	29
	ソケット式	181	84		
	ねじ込み式	175	81		
20A	フランジ式	257	126	47	33
	ソケット式	213	104		
	ねじ込み式	205	100		
25A	フランジ式	301	143	57	40
	ソケット式	259	122		
	ねじ込み式	245	115		
40A	フランジ式	368	177	87	57
	ソケット式	345	166		
	ねじ込み式	319	153		
50A	フランジ式	397	200	102	70
	ソケット式	383	194		
	ねじ込み式	361	182		

注記： 図面はフランジ接続を例にしている。規格：JIS 10K
ソケット式とねじ込み式の時も同じく L は長さ方向の面間距離を指している。

5. 配管方法

 警告	
 禁止	<p>重傷を負うおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品の吊り下げや玉掛けは、安全に十分配慮して、吊荷の下に入らないでください。 ▶ 使用する機械工具及び電動工具は、事前に必ず安全点検を行ってください。 ▶ 作業内容に応じた適切な保護具を着用して作業を行ってください。

 注意	
 禁止	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ Uバンドなどで配管サポートを取られる際は、締め過ぎないでください。 ▶ キャップナットを締め過ぎないでください。 ▶ キャップナットを締める際はパイプレンチを使用しないでください。
 強制	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 取付けの際は配管やバルブなどに引張り、圧縮、曲げ、衝撃などの無理な応力が加わらないように設置してください。 ▶ 配管施工の際は、ボディキャップを固定させて作業を行ってください。 ▶ 通水試験前は、必ずキャップナットが十分に締まっているか確認してください。 ▶ 軸芯ズレや面間寸法に注意して、キャップナットを締め付けてください。 ▶ 配管ラインの管末に取り付ける場合、二次側(下流側)のキャップナットとボディキャップは、必ず装着しておいてください。 ▶ 金属配管へ接続する際は、製品に配管応力が加わらないように注意してください。
-	<p>配管接続時注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 旋回流型エジェクタ出口側の背圧(抵抗)を可能な限り、小さくなるようにしてください。背圧が高くなると、吸引側へ逆流するおそれがあります。 ② 出口側の配管接続は、汎用型エジェクタより小さい呼び径を選ばないでください。出口より小さい呼び径に接続すると出口側の背圧が大きくなるため、注意が必要です。 ③ 運転停止後、配管内部の液体が吸引側への逆流を避ける必要がある場合、吸引側に逆止弁を設けてください。 逆止弁を設けた場合は吸引量に影響する可能性が高くなります。 影響の程度は逆止弁によって異なるので、お客様で確認してください。 ④ 吸引量を絞る必要がある場合、吸引側にバルブを設けてください。 ⑤ 取付方向は水平あるいは垂直にしてください。垂直で下向きに流れる場合、出口側の配管に若干の背圧(抵抗)を加えてください。 <p>運転前のチェック事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 配管ラインが正しく接続されていること。 ② 旋回流型エジェクタの流れ方向が指示通りになっていること。 ③ 出口側のバルブが全開であること(出口側が閉になると吸引側へ逆流しますので、注意してください)。

フランジ形

⚠ 注意

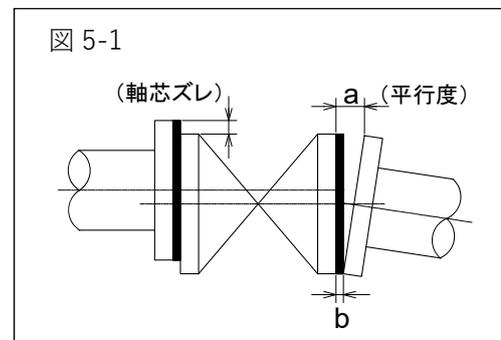
🚫 禁止

製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。
 ▶ 規定トルク値以上で締め付けないでください。

! 強制

製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。
 ▶ 接続フランジは全面座のものを使用してください。
 ▶ 相互フランジ規格に違いがないように確認してください。
 ▶ 必ずシール用ガスケット(AV パッキン)、ボルト・ナット、ワッシャを使用し、所定の締め付けトルク値で締め付けてください。(AV パッキン以外の場合は締め付けトルク値が変わります)
 ▶ フランジ面の平行度並びに軸芯ズレの寸法は、図 5-1 の数値以下にしてください。

呼び径 (mm)	軸芯ズレ	平行度 (a-b)
15-25	1.0mm	0.5mm
40-50	1.0mm	0.8mm



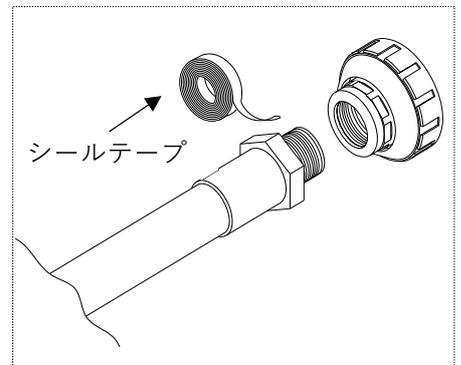
ねじ込み形

⚠️ 注意	
🚫 禁止	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <p>▶ 接合部のねじは、締め過ぎないでください。</p>
🚨 強制	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <p>▶ この製品のキャップナットは、ゆるめやすいように軽く締め付けています。必ずボディキャップを取り外してから施工してください。 (外部漏れするおそれがあります)</p> <p>▶ 接合部のねじが樹脂製であることを確認してください。 (金属ねじとの配管ではボディキャップが破損するおそれがあります)</p> <p>▶ 弊社樹脂配管材料のねじ接合部には、シールテープを使用してください。液状シール剤及び液状ガスケットを使用した場合、ストレスクラック(環境応力割れ)を起こす可能性があります。</p>

準備するもの	▶ シールテープ	▶ ベルトレンチ	▶ スパナ
--------	----------	----------	-------

[手順]

- 1) 継手のおねじにシールテープを先端約 3mm 残して巻き付けます。
- 2) ベルトレンチでキャップナット[4]を緩めます。
- 3) キャップナット[4]とボディキャップ[3b]を外します。
- 4) キャップナット[4]をパイプ側へ通します。
- 5) 継手のおねじとボディキャップ[3b]を手で軽く締め付けます。
- 6) 傷付けないようにボディキャップ[3b]をスパナで 1/2 ～1 回転ねじ込みます。
- 7) O リング(A)[5]が装着されているのを確認します。
- 8)ハウジング側にボディキャップ[3b]及びキャップナット[4]をO リング(A)[5]が外れないように接触させます。
- 9) キャップナット[4]を手できつくなるまで締め付けます。
- 10) キャップナット[4]を傷付けないように、ベルトレンチで 1/4 ～1/2 回転ねじ込みます。



ソケット形

 警告	
 禁止	<p>重傷を負うおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 接着剤を使用するときは換気を十分に行い、周囲での火気の使用を禁止するとともに、直接臭気を吸わないでください。
 強制	<p>重傷を負うおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 接着剤が皮膚に付着したときは、速やかに落としてください。また気分が悪くなったり、異常を感じたときは、速やかに医師の診断を受け、適切な処置をしてください。

 注意	
 禁止	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 接着剤を塗り過ぎないでください。(製品内に接着剤が流れ込むと漏れの原因となる可能性があります) ▶ 叩き込みによる挿入は絶対にしないでください。 ▶ 低温下での施工は、溶剤蒸気が蒸発しにくく残存しやすくなるため、注意が必要です。(ソルベントクラックが発生し破損するおそれがあります) <p>配管後は、管の両端を開放するとともに、送風機(低圧仕様のもの)などで通風することにより、溶剤蒸気を除去してください。</p>
 強制	<p>製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ この製品のキャップナットは緩めやすいように軽く締め付けています。必ずボディキャップを取り外してから施工してください。(外部漏れするおそれがあります) ▶ 接着剤は材質に応じた「ASAHI AV 接着剤」を使用してください。 ▶ 通水試験は接着完了後 24 時間以上経過してから行ってください。

6. 点検項目

⚠️ 注意

❗ 強制

製品が損傷する、または漏れるおそれがあります。

- ▶ 定期的なメンテナンスを行ってください。(長期保管・休転時または使用中の温度変化や経時変化により漏れが発生する場合があります)
- ▶ 異常が見られた際は、弊社へご連絡ください。

日常点検

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	処置方法
外部漏れ (目視)	漏れが無いこと	【フランジ形】 配管フランジ接続部	① 配管ボルトを規定トルクで増し締めする ② バルブを配管から取り外して配管ボルトの締め付けをやり直す (参照：5. 配管方法[フランジ形])
		【ソケット形】 接着施工部	バルブを配管から取り外して接着施工をやり直す (参照：5. 配管方法[ソケット形])
		【ねじ込み形】 ねじ込み接続部	バルブを配管から取り外してねじ込み施工をやり直す (参照：5. 配管方法[ねじ込み形])
		バルブのキャップナット部	① キャップナットを増し締めする ② バルブを配管から取り外して O リングやシール面を確認し、不具合部品を交換する (参照：5. 配管方法)
		バルブ全体の表面	バルブを配管から取り外してバルブを交換する
異音 (聴音)	異音の無いこと	バルブ	バルブを配管から取り外してバルブを交換する
		バルブ周辺の配管	使用条件を再確認する (参照：2. 安全上のご注意)

定期点検

●点検周期の目安：3 か月

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	不具合時の処置方法
振動 (触診)	他所との差が無いこと	バルブ	使用条件を再確認し、振動源を除去する (参照：2. 安全上のご注意)
		バルブ周辺の配管	バルブを配管から取り外してバルブを交換する 使用条件を再確認し、振動源を除去する (参照：2. 安全上のご注意)

定期点検

●点検周期の目安：6 か月

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	不具合時の処置方法
ボルト類のゆるみ (目視、触診)	ゆるみの無いこと	【フランジ形】 フランジ配管用	配管ボルトを規定トルクで増し締めする (参照：5. 配管方法[フランジ形])
製品損傷	傷、割れ、変形の無いこと	製品の外観	バルブを配管から取り外してバルブを交換する

7. 不具合の原因と処置方法

不具合現象	予想される原因	対策・処置
エジェクタから流体が漏れる	キャップナットの緩み	キャップナットを増し締めする (参照：5. 配管方法)
	Oリングのキズ付きまたは磨耗	Oリングを交換する (参照：5. 配管方法)
吸い込み量が少ない	流れ方向の取り付け間違い	正しい流れ方向に変更する
	吸引側の漏れ	キャップナットを増締めする
	吸引側配管の抵抗が高い	吸引側の抵抗を取り除く
	出口側の圧力（背圧）が高い	出口の抵抗を取り除く
	駆動側の圧力が低い	駆動圧力を上げる

8. 残材・廃材の処理方法

 **警告** **強制**

燃やすと有毒ガスが発生します。

- ▶ 製品または部品を廃棄される場合は、各自治体の指針にしたがい、廃棄専門業者に処理をお願いしてください。

お問合せ先

この製品に関するお問い合わせは、最寄りの販売店、弊社営業所、または弊社 web サイトの「お問い合わせ」までご連絡ください。

[取扱説明書]

AVEJT 旋回流型エジェクタ
(流体混合器)



<https://www.asahi-yukizai.co.jp/>

本書内容につきましては、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

2024.03

【取扱説明書】 AVEJT 旋回流型エジェクタ (流体混合器)